

学校通信『自分に自信と夢を』 第88号 文責 古澤

学校に笑顔を ～ 後期後半の教育活動の中から ～

プログラミング教育

小学校では、2020年（令和2年）4月に新学習指導要領がスタートし、新たな取組の一つとして「プログラミング教育」があります。学習指導要領の総則には、「児童がプログラムを体験しながら、コンピューターに意図した処理を行わせるために必要な理論的思考力を身に付けるための学習活動」と示されています。



2月10日（水）に6年2組の理科（授業者：理科専科の檜崎先生）の授業を参観しました。子どもたちは、玄関の照明をつけたり、消したりするプログラムを考えていました。6年生の自学ノートにも、プログラミングについて調べたことがたくさん書いてありました。このように、子どもたちは、コンピューターがプログラムによって動き、社会で活用されていることを体験し、学習しています。



さて、大津町の小中学校では、4月から授業で一人一台のタブレットパソコンを活用します。家庭学習でも使用できるよう、連絡アプリで御家庭におけるインターネット環境のアンケートを行っています。回答がまだの御家庭は、明日（3月3日）までに御回答をよろしくお願いいたします。

卒業生を送る会&スマイルパーティ

例年2月に、支援学級の子どもたちが参加する大津町の「卒業生を送る会」が開催されていましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止になりました。本校では2月18日（木）に6名の卒業生に感謝の心を伝える機会として、「卒業生を送る会&スマイルパーティ」を行いました。第1部では、卒業生からの言葉や、在校生からのメダルや色紙のプレゼントがありました。第2部では、ゲームをしたりして、楽しい時間を過ごしていました。



42,000冊達成



2月12日に本の貸出数目標の42,000冊を見事に達成しました。図書委員会の皆さん、おめでとうございます。

地域への社会貢献

1月28日に、町生涯学習センターに感謝の気持ちを込めて学校で育てたサクラソウの花を贈りました。飼育・栽培委員会、ボランティア委員会の皆さん、ありがとうございました。生涯学習情報誌にも紹介されています。



命を大切にする大津小



本校では、熊本地震を受けて、様々な場面を想定した実践的な避難訓練を実施しています。本年度は、感染症拡大防止のために「子ども防災士活動」は控えましたが、命にかかわる避難訓練は、感染症対策を講じた上で確実に実施しています。これまでの避難訓練は、決められた時間に全児童が一斉に学級ごとに、運動場に避難していましたが、密を避けるために、学年別に時間を分けて運動場に避難しました。また、校舎増築の工事中であり、より安全な避難経路を確認して行いました。【左の写真】1月には、掃除時間に地震が発生したと想定してショート訓練をしました。放送を聞き、建物から離れて命を守る行動を身に付けていました。【右の写真】2月には、「休み時間」に訓練をしました。

